



# 市民活動 サポートセンター 通信

No.67  
2021.10

Win-winな関係

## 区と市民活動団体との連携を探る！ ✨

市内全区(自治会)も市民活動サポートセンターの登録団体です。市民活動サポートセンターがつなぎ役となり、区と市民団体が連携することで、区だけでは解決できない課題と一緒に取り組んだり、市民団体の活動の場が広がったりすることが期待されます。区と市民団体の連携について事例を元に紹介します。

### 「区内の魅力<sup>なぐき</sup>を再発見ウォーク in名九鬼」

潮沢区は区内の見所の素晴らしさを再発見しようと、区内散策イベントを1年前より実施。昨年度は岩洲公園、今年度は名九鬼地区を散策しました。今回は区民や市外から約20人が参加し「潮沢ロマンの会」の解説で名九鬼に伝え残る平家にまつわる物語を楽しみました。(10月10日)



潮区の歴史と文化を伝えたい！

### 「潮沢ロマンの会」のメリット



- ・地元の方に会を認知してもらうことで、活動がしやすくなる。
- ・歴史的資料や言い伝えは地元の方の家に眠っている(聞いている)こともある。
- ・住民の許可を得て歴史ある土地や建物に入ることができる。

相乗効果



歴史に誇り！地域に愛着

### 「潮沢区」のメリット

- ・住民も知らない歴史が分かる。
- ・地域の魅力を再発見できる。
- ・区民以外の方にも地域を知ってもらう機会が増える。
- ・草刈り等地域の環境整備も一緒に行うことができる。



地域の歴史や魅力を知った地元の皆さんが今度は発信者になる！



潮沢ロマンの会代表  
賣 喜吉さん

潮沢の歴史や魅力を一番知っているのは地元の方で、最高のナビゲーターです。区の理解を得て活動の幅は大きく広がりました。また明科公民館を通じ、市内の小学校より廃線敷や岩洲公園散策のガイド役の依頼も来ています。区長さんは多忙であり、1~2年で交代されるため、区との連携は焦らず、自分たちの活動や思いを理解する「ファン」を区民の中に作り、区長さんにつなげてもらうと良いのではないのでしょうか。また、サポートセンターがパイプ役となることにも期待します。

地域の歴史に詳しいだけでなく、貴重な資料を後世に伝え残す活動は素晴らしい。高齢化が進む中で、里山の整備や草刈りなど、声をかければ協力いただき、大変助かっています。今後も連携を続け、若い人たちにも潮沢を知り、来ていただきたいと考えています。



潮沢区長 小林 正幸さん

## 市民活動スキルアップセミナーを開催しました！

市民活動サポートセンターは10月3日（日）、10月9日（土）に市民活動スキルアップセミナーを開きました。3日は「地域の先輩に聞く！持続可能な組織運営」をテーマに14人、9日は「相手に届く！分かりやすいチラシ・パンフレットの作り方」をテーマに21人が参加しました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！



### ～地域の先輩に聞く！持続可能な組織運営～

NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団事務局長の宮崎崇徳さんと、やまこの学校を運営する古田春江さんを講師に招き、それぞれ団体を継続していく上で心掛けている点をお聞きました。

#### 組織運営は「共感」が大切

宮崎さんは、NPO法人などの組織を運営するためのキーワードに「共有」「共感」「体感」「連携」の4点をあげ、特に「共感」が大切だと説明しました。応援団では、オープンな議論でその過程を記録に残してミッションを「共有」し、上下関係のない関係で「共感」を生み、ともに汗を流して議論より行動を起こして「体感」していると紹介。加えて、活動を内ではなく外に向けてために、「他団体との連携を活発にしている」と話しました。

#### 講座受講生が運営委員として参画

古田さんは平成24年、穂高地域の伝統産業である天蚕（やまこ）の継承に取り組む「やまこの学校」を設立し、飼育や糸づくりの講座を開いてきました。開始以来、主にご夫婦で活動してきましたが、現状のままでは活動の継続が難しいと考え、講座の受講生に声を掛けて運営委員として参画していただいていることを紹介。運営委員は現在、市内外の15人で「活動に共感していただき、ご協力いただいている」と話しました。

### ～相手に届く！

#### 分かりやすいチラシ・パンフレットの作り方～

長野県よろず支援拠点（長野市）コーディネーターで、大町市で活動しているグラフィックデザイナー・イラストレーターの高松香苗さんを講師に招きました。高松さんはチラシやパンフレットを実際に作り始める前に、「まずは伝えたいことや達成したい目的を洗い出し、短い言葉にすることが大切」と説明。また、例えば30代家族にイベントに来てほしい場合、楽しそう！行きたい！と感じるポスターが良いなど、「伝える内容が同じでも、情報を届けたい相手によって違うデザインになる」と紹介しました。より良いチラシ・パンフレットを作る1番のおすすめは、「お店の入り口などで気になった物を集めて自分自身の資料にすることです」と話しました。



セミナーの後は相談会を開き、参加者が持ち寄った実際のチラシ・パンフレットを高松さんにその場で見ていただき、改善点などのアドバイスを参加者全員で共有しました。参加者からは「ブラッシュアップする方法が視覚的に分かった」「具体的に添削していただき参考になった」と好評でした。

市民活動スキルアップセミナーは来年2月5日（土）に組織運営をテーマに開く予定です。年度末には「つながりひろがる地域づくり事業補助金」の説明会も開きます。詳細は決まり次第、お知らせします。ぜひご参加ください。



## オンラインを活用して 活動の幅を広げよう！

コロナ禍以降、オンラインを活用する機会が一気に増えました。打ち合わせ会議や講習・セミナーといった場面でオンラインミーティングツールを使うことがあります。一方で、「便利そうだけどいざ自分たちで使うとなるとハードルが高い」「よくわからないから手を出せないでいる」という方もいらっしゃるかもしれません。そこで、Withコロナの時代において活躍するオンライン会議ツールについて簡単に紹介します！



AIN で実施した  
研修の様子

### どんなことができるの？

- ・別々の場所から、お互いの顔を見ながら発言したり、資料の表示・共有、文字でのやりとりといったことができる。
- ・録画機能、グループごとに分かれて会議できる機能など、様々なサービスが提供されている。

### 何が必要？

- ・パソコンやスマホ、タブレットなど、インターネットにつながる機材
- ・Zoom や GoogleMeet、LINE グループ通話などのツール(人数や内容によって適切なものを使用)
- ・Wi-Fi などの安定した定額通信環境(通信量が多くなるため)

### メリット・デメリットは？

#### 【メリット】

- ・感染症の影響を受けずに実施できる。
- ・交通費や時間をかけずに参加できる。

#### 【デメリット】

- ・使えない方、使い慣れない方も多くいる。
- ・一方的になりがちで交流が難しい。
- ・準備や運営に手間がかかり、通信が途切れるリスクがある。

#### → デメリットへの対処

- ・使えない方も参加できる方法も用意する、使い方を学ぶ機会を設けるなど、温度差を生まないようなフォローをする。
- ・チャットなどを活用し参加の実感を醸成する。
- ・通信が途切れた場合の対応を想定しておく。

オンラインをうまく取り入れることで、コロナ禍での市民活動や地域活動、自治会活動の幅が広がります。市民活動サポートセンターではオンラインの活用に関する相談も受け付けています。お話を聞き、一緒に考えたり、助けとなる市民活動団体や組織とのつなぎ役になりますので、気軽にご相談ください！



### オンライン会議ツール (Zoom) 活用のための研修を開催しました！



あづみの国際化ネットワーク(AIN)では10月に開催予定であった多文化共生意見交換会を延期し、感染症の状況に影響を受けないオンラインでの実施に変更して開催準備を進めています。「Zoomを使ったことがないスタッフも含め、当日を想定して運営方法を学ぶ機会を作りたい」という相談を市民活動サポートセンターにいただきました。そこで基本的な使い方や主催者としての操作の仕方、オンライン会議や講演会を開催してきた中での経験談、心掛けていること、といった内容をお話する研修会を10月9日に開催しました。

実際に操作してみながら、基本的な使い方として「ミーティングへの参加の仕方、カメラやマイク、表示画面の操作」といったことを説明し、主催者側の使い方として「ミーティングの設定の仕方や画面の共有、ブレイクアウトルームの設定」といったことを紹介しました。参加者からは「参加の仕方がわかってよかった」「主催者として使いこなすには仲間内での会議をオンラインでやってみるなど、とにかく実践することが必要」といった声があがりました。

**i 情報コーナー**

\*新型コロナウイルスの感染状況によっては中止または縮小となる場合があります。  
 詳細はお問い合わせ先へご連絡ください。  
 \*市民活動サポートセンターホームページでより詳しい情報を掲載しています。

**あづみの市民活動フェスタ 2021**

ボランティア・NPO 団体や自治会など、よりよいまちづくりや地域づくりに関わる皆さんの活動を楽しく発信するイベントです。詳しくはホームページで。 ↓↓↓

- ◆期間 11月9日(火)～11月21日(日)
- ◆内容 ・活動紹介展示、PR 動画の公開  
 ・ステージ発表  
 ・活動体験(野外)
- ◆問い合わせ 市民活動サポートセンター



**ハンドベル交流・演奏会 in 黒姫高原**

～天使のハーモニーを風にのせて～

- ◆日時 10月23日(土) 13:30～14:00
- ◆場所 黒姫童話館(信濃町野尻 3807-30)
- ◆曲目 ふるさと、アメージンググレイス 他
- ◆出演 三匹のこぶた、ポラリスリングーズ
- ◆参加費 無料
- ◆問い合わせ 信州イングリッシュハンドベル研究会  
 耳塚さん(090-4956-5586)

**安曇野歴史サロン**

三郷住吉神社近くに出現した平安時代の集落。その歴史的意義や安曇野の平安時代はどうだったのか掘り下げます。

- ◆日時 10月23日(土) 14:00～15:30
- ◆場所 明科公民館 講堂
- ◆テーマ 平安時代の安曇郡のムラ
- ◆講師 廣田和穂さん(長野県埋蔵文化財センター)
- ◆参加費 500円(資料代)
- ◆問い合わせ 安曇誕生の系譜を探索会  
 川崎さん(090-5779-5058)

**一緒に楽しむ+知ってお得 ぱおぱお親子 Time 要申込**

- ◆日時 11月13日(土) 10:30～11:30 ※託児有
- ◆場所 ぱおぱおのおうち(三郷明盛 1363-1)
- ◆内容 (講義)「子育ての今、昔」  
 (クラフト)フォトアルバム作り
- ◆講師 山藤宏子さん(松本短期大学幼児保育学科准教授)
- ◆定員 15人(先着順)
- ◆参加費 ひとり500円
- ◆申込 電話又はFAXで
- ◆問い合わせ NPO 法人子育て支援ぱおぱお(77-1180)

**清雅コンサート(尺八のコンサート) 要申込**

ピアノ、バイオリン、ギターの友情出演もあり。尺八の体験ができます! 吹いてみませんか?

- ◆日時 11月6日(土) 18:00 開演
- ◆場所 蔵のカフェレストラン清雅
- ◆曲目 家路、もののけ姫、川の流れるように 他
- ◆出演 ABC 安曇野尺八サークル「尺八やってる会」
- ◆参加費 無料
- ◆問い合わせ 佐々木さん(090-2841-5577)

**軽トラ朝市で発表しませんか**

毎月開催している軽トラ朝市で、演奏や踊りなどで盛り上げてくださる団体を探しています。秋晴れの青空の元、のびのびと披露してみませんか?

- ◆日時 10月24日(日)、11月21日(日)  
 8時～11時頃のお好きな時間 ※要 他出演者との調整
- ◆場所 ビレッジ安曇野駐車場(野外)
- ◆問い合わせ 安曇野の里 軽トラ朝市実行委員会 北澤さん  
 (090-3519-5191)

**赤い羽根共同募金分配事業**

**地域生活支援活動特別公募分配**

「孤立をなくす地域住民による包み支えあい活動」

- ◆助成対象 福祉団体、ボランティア・NPO 団体、住民組織等の非営利団体で、孤立を無くすための仕組み作りや活動
- ◆配分額 上限5万円
- ◆募集期間 11月30日(火)
- ◆問い合わせ 安曇野市社会福祉協議会本所(72-1871)  
 又は各支所

**麒麟・地域のちから応援事業**

- ◆助成対象 子ども子育て世代の福祉向上に関わるもの  
 シルバー世代の福祉向上に関わるもの  
 障害や困りごとのある人、支える人の福祉向上に関わるもの  
 地域やコミュニティの活性化に関わるもの
- ◆助成期間 令和4年度
- ◆助成金額 上限30万円
- ◆募集期間 10月31日(日)
- ◆問い合わせ (公財)麒麟福祉財団(03-6837-7013)

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。
- ・参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催し、普段の活動に、職員や市民活動サポーターが取材に伺います。活動のPRにご活用ください。

**【発行】安曇野市市民活動サポートセンター**

住所 〒399-8281 安曇野市豊科6000番地  
 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課窓口  
 電話 0263-71-2013 FAX 0263-72-3176  
 メール kururin@city.azumino.nagano.jp

開庁時間 午前8時30分～午後5時15分  
 休業日 毎週土・日曜日、祝日  
 年末年始 12月29日～1月3日

ホームページ <https://www.city.azumino.nagano.jp/site/azumino-sk/>

